

科目名 (英語名)	コミュニケーションリテラシー (Communication Literacy)		科目コード	(ふりがな) 担当者	(おざお りこ) 小棹 理子	専任・非常勤
			23LA50			専任
2単位	開講期	前期	授業方法	講義/演習		
[履修条件、準備等] 1-12回は、2~3月の入学前に開講します。13-14回は、E-ラーニングによる実施です。 10-12回はグループ作業ですので、欠席しないこと。						
[授業の具体的到達目標] 第一に、大学と高校の違いを理解し、入学後2年間での学習目標を明確化することができます。 第二に、社会で必要とされるコミュニケーション力を理解し、発展させるための方法論が理解できるようになります。						
[授業の概要] 大学や社会で必要とされる「コミュニケーション能力」をここでは、高校で学んだ知識をベースとした「[読・書・話・パソコン]により、他人とともに仕事をこなす力」、と定義します。「読み・書き・話す」という日本語コミュニケーションや、「パソコン」という情報通信社会におけるコミュニケーションツールの基本を確認したのち、グループで問題を設定し、解決し、プレゼンテーションを行います。 また、大学生活を送る上で大切なこと(自学自習をする上でのアドバイス、マルチメディアの利用、オフィスアワー、等)についても、複数(2名以上)の担当者が丁寧に説明します。 なお、教室・履修者の状況によって内容の順序を変更することがあります。						
回数	授業計画		授業時間外の学習(予習・復習の内容)	担当者		
1回	ガイダンス(社会人キャリア力とはーアセスメント)		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	小棹		
2回	ノンバーバルコミュニケーションの重要性(特別講義)		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	渡辺・小棹・中村		
3回	ノンバーバルコミュニケーションの重要性(特別講義)		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	渡辺・小棹・中村		
4回	コミュニケーションの基本ー話す技術		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	稲葉・長谷川・丸井・武藤・米田		
5回	コミュニケーションの基本ー書く技術		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	稲葉・長谷川・丸井・武藤・米田		
6回	インフォマティクス-図書館の利用とインターネット検索		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	稲葉・長谷川・丸井・武藤・米田		
7回	問題と問題解決の技法		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	小棹		
8回	情報の分析とMS-Excelの活用-基本操作と表計算		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	小棹・高嶋・中村・三笠		
9回	情報の分析とビジネスにおけるMS-Excelの活用-グラフ化		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。 プレゼンターマなどを考えておいてください。	小棹・高嶋・中村・三笠		
10回	問題解決:発散技法(プレゼンテーション準備)		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	小棹・高嶋・中村・三笠		
11回	問題解決:収束技法(プレゼンテーション準備)		テキストの該当箇所を読んで、復習し、内容の理解に努めてください。	小棹・高嶋・中村・三笠		
12回	グループプレゼンテーション(最終発表)		発表に対するコメントを再確認し、次回に生かせるよう、努めてください。	小棹・高嶋・中村・三笠		
13回	社会人に必要とされる日本語力と時事問題の知識(社会人キャリア力のE-ラーニング)		E-ラーニングによる復習を繰り返してください。	小棹		
14回	社会人に必要とされる非言語能力(社会人キャリア力のE-ラーニング)		E-ラーニングによる復習を繰り返してください。	小棹		
15回	まとめ(アセスメントの結果のフィードバック)		アセスメント結果のフィードバックを読み、理解に努めてください。	小棹		
試験等	教場内で授業内容の確認チェックを行います					

[成績評価] ルーブリックに従って、提出課題・グループワーク評価点・受講姿勢により単位取得の可否を決定する。				
[課題（試験やレポート等）に対するフィードバック] 課題やプレゼンテーションに対する評価をコメントを附してフィードバックする。				
	書名	著者	ISBN	出版社
テキスト	大学生のための基礎力養成ブック	小棹理子・伊藤善隆・野村亜住・高橋可奈子	9784621085189	丸善出版株式会社
参考文献	グループ学習入門 学びあう場づくりの技法	新井 和広・坂倉 杏介	9784766420395	インプレスジャパン
[備考]（2名以上の複数担当者、マルチメディアの利用、受講生に望むこと、オフィスアワー等） 特別講師：渡辺克己 上記以外の担当者：高嶋章雄（たかしま あきお）、中村亮太（なかむら りょうた）、三笠俊哉（みかさ としや）、稲葉有祐（いなば ゆうすけ）、長谷川範彰（はせがわ のりあき）、丸井貴史（まるい たかふみ）、武藤那賀子（むとう ながこ）、米田有里（こめだ ゆり） 質問等はオフィスアワーを活用してください （小棹 研究室は 1号館 4F の 143 教室向いです）				

ルーブリック

評価項目	すばらしい(100%)	惜しい(50%)	残念(0%)
高校と大学の違いの理解と入学後の目標設定 (50%)	高校と大学の学びの違いをよく理解し、入学後の目標を明確にできている。	高校と大学の学びの違いをほぼ理解し、入学後の目標がわかっている。	高校と大学の学びの違いがよく理解できていない、入学後の目標が不明。
社会で必要とされるコミュニケーション力と、これを発展させるための方法論の理解 (50%)	グループワークの重要性、社会人キャリア力を構成する具体的内容がわかっている。	グループワークに参加でき、社会人キャリア力を構成する具体的内容がほぼわかっている。	グループワークに参加しない、社会人キャリア力を構成する内容がわかっていない。